

第七十四回帝國議會 院 酪農業調整法案委員會會議錄(速記)第七回

付託議案
酪農業調整法案(政府提出)

會議

昭和十四年三月十三日(月曜日)午前十一時
十分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 田中 万逸君

理事池田 清秋君 理事藤生安太郎君

理事深澤 吉平君 理事鹽川 正藏君

坂下仙一郎君 河野 一郎君

松尾 孝之君 永山 忠則君

北 勝太郎君 野溝 勝君

小田 榮君

出席政府委員左ノ如シ

農林參與官 林 讓治君

農林省畜産局長 岸 良一君

厚生省衛生局長 林 信夫君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

酪農業調整法案(政府提出)

○池田委員長代理 是ヨリ委員會ヲ開キマ

ス——河野君

○河野委員 本委員會モ大分各方面ニ互ツテ同僚ヨリ御質問モアツタコトデアリマスカラ、最後ニ極ク要點ヲ搔摘ンデ御尋ヲ致シタイノデアリマスカラ、當局ニ於テモ將來ノ爲ニ御言明ヲ願ヒタイト思ヒマス、先

ヅ第一ハ、酪農事業ガ非常ニ現下ノ我國ノ事情ニ於テ、特ニ農村ノ振興ノ上ニ於テ重大ナル問題デアルガ、之ヲ麟ツテ考ヘマスノニ、馬産ニ對スル國家的施設——勿論國防上ノ見地ヨリ色々國家トシテモ考ヘナケレバナラヌ點モアルト存ジマスケレドモ、吾々ノ考ヘルニハ、ドウシテモ馬ヲ一頭飼フ者ニハ牛モ一頭飼ハセヨ、政府トシテハ當然馬ニ於テ農家ガ負擔スル所ノ負擔ヲ牛ノ方面ニ於テ稍、緩和シタラ宜カラウ、サウサスコトガ政府トシテハ當然デハナイカ、其ノ爲ニハ馬ニ負擔スルト同等ニ、牛ニ對シテモ政府ニ於テ適當ナル補助助成ノ政策ヲ以テ、馬ト牛、即チ馬ニ配スルニ牛ヲ以テスルトカ其ノ他非常ニ有利適切ナル家畜ヲ地方地方ニ於テ獎勵スルコトガ必要デハナイカ、馬ノミニ依ツテ經營スル所ノ農家ハ如何ニ其ノ經營ノ上ニ於テ遺憾ノ點ガアルカト云フコトハ私ガ茲ニ申上ゲルマデモアリマセヌ、是等ノ計算ニ付テハ十分當局ハ御承知ノ通りデアリマス、隨テ過去ニ於ケル、又現在ノ農林省ノ豫算ヲ見マシテモ、如何ニモ馬ニ對スル施設ニ反シテ、牛其ノ他ノ家畜ニ對スル施設ガ貧弱デアリマス、例ヘ

バ之ヲ昭和十四年度ノ一般豫算ノ中カラ考ヘテ見マシテモ、牛其ノ他ノ家畜ニ對スル補助助成ノ政策ニ至ツテハ全ク貧弱デ見ルベキモノガアリマセヌ、特ニ本法實施ニ當ツテ當然問題ナルベキ所ノ牛乳ノ處理ノ問題、其ノ他共同經營ノ問題等ニ付キマシテノ補助費等ニ付テハ非常ニ貧弱デアルコトヲ吾々ハ遺憾ニ考ヘルノデアリマス、此ノ點ハ本日私ハ大臣ノ御出席ヲ願ツテ、大臣ヨリ確固タル御言明ヲ戴キタイト思ツテ居ツタノデアリマスケレドモ、遺憾ナガラ大臣ハドウシテモ御都合ガ出來ヌト云フコトデアリマスカラ、此ノ機會ニ林參與官ヨリ農林當局トシテノ確固タル御信念ヲ御披瀝戴キマシテ、明後年昭和十五年度ノ豫算ノ上ニ於キマシテハ相當恩切ツタ施設ヲセラレンコトヲ要望シテ已マナイ者デアリマス、常ニ政府ハ拳固デ物ヲショウト考ヘル、是ハ官僚ノ通弊カモ知レヌ、權力ヲ用ヒレバ物ガ出來ルヤウニ考ヘルノガ官僚ノ通弊デアル、ドウシテモ先ヅ法律ニ伴フニ補助助成ノ施設ヲ並行シテ、出來ルナラバ、例ハ非常ニ宜シクナイカモ知レマセヌケレドモ、先ヅ豫防警察ノ方ニ重點ヲ置イテ、然

ル後ニ取締ヲスルト云フコトガ民ニ臨ムニ當然御役人ノ考ヘナケレバナラヌコトデアリマス、所ガ法律ヲ先ニ作ツテ後カラ色々ナコトヲヤラレルト云フヤウナ行キ方ハ妥當ナ考ヘ方デヤナイ、生産擴充ノ時代ニ於キマシテ、生産ヲ擴充スルノニ此ノ一本ノ法律ヲ以テ臨マレルト云フコトハ餘リニモ冒險デアリマス、偶、酪農ノ事業ガ今日ノ農家ノ實情ニ合致シマスノデ、或ル程度ノ效果ヲ收メラレルカモ知レマセヌケレドモ、目的トスル所ハマダ——其ノ程度ノ所デハアリマセヌ、吾々ハ全國ノ農村ニ少クトモ最小限度三百万頭位ノ牛ヲ飼養管理セシメルコトヲ希望シテ已マナイ者デアリマス、承レバ當局ノ希望ハ二百四五十万頭ト云フコトデアリマスケレドモ、サウ云フ小サナ考ヘ方デナシニ、出來レバ——ツノ農家ニ一頭ノ牛ト云フコトハ最小限度デアリマス、又前段私ガ申上ゲマシタヤウニ、馬一頭ニハ牛一頭ト云フコトヲ必ズ並行シテ併養セシメルト云フコトガドウシテモ吾々ノ將來農村經濟ノ上カラ考ヘナケレバナラヌコトデハナイカト思フノデアリマスカラ、是等ニ間シテ此ノ機會ニ御言明アラシコト

ヲ御願スル次第デアリマス

○林政府委員 只今河野議員ノ仰シヤツタ馬ト牛トノ比較ニ對シマシテハ、總テノ施設ニ對シテ私自ラモ牛ノ方ガ極メテ輕ク見ラレテ居ルト云フコトヲ能ク諒承シテ居リマス、尙ホ將來ニ付キマシテハ十分考慮致シマシテ善處致シタイト云フ氣持デアリマス、唯私共乏シキヲ以テ役人ニナツタバカリデアリマスカラ、私ト致シマシテハソレ以上ニ申上ゲルコトハゴザイマセヌガ、只今アナタノ仰シヤツタ通り、非常ニ輕イ、隨テ將來ソコマデハ行カズトモ、成ベクソレニ近付クヤウナ方法ヲ執ルヤウニ考慮致シタイト思ヒマス

○河野委員 ドウカ今林參與官ノ御言明ニナリマシタコトハ、最大ノ努力ヲ以テ、御列席ノ畜産局長初メ其ノ他ノ關係官ニ於カレテ全力ヲ擧ゲデ一ツ本邦畜産界ノ爲ニ御盡力アランコトヲ御願スル次第デアリマス

更ニ進ンデ此ノ機會ニ御所信ヲ質シテ置キタイコトハ、先般豫算總會ニ於テモ私ヨリ政府當局ニ御願シマシタコトデアリマスガ、我國ノ畜産行政ノ關係ノ行政事務ニ於テ、各省ニ互ツテ居ル問題ガ非常ニアルノデアリマス、是ハ既ニ當局ニ於テモ御承知

ノ通りデアリマス、是等ノ問題ハ、例ヘテ申セバ、牛乳ノ處理ニ致シマシテモ、是ガ縣ノ經濟部デヤツテ居ル所モアレバ警察部デヤツテ居ル所モアル、中央ノ官署ニ於キマシテモ、一部分ハ內務省ノ所管ニナツテ居ル所モアレバ、他ノ省トノ共管ニナツテ居ル問題モアル斯ノ如キハ甚ダ事務進捗ノ上ニ於テ遺憾トスル所デアリマス、特ニ

斯ノ如キ法律ヲ以テ酪農業ノ統制ヲヤラレマス以上ハ、是等ノ問題ニ付テハ此ノ機會ニ適當ニ一掃セラレルコトガ必要ダト私ハ思フノデアリマス、此ノ點モ實ハ本日大臣ニ十分所信ヲ質シタイト思ツタノデアリマスガ、此ノ機會ニ當局ニ於テモ、民間ニ向フニ統制ヲ希望セラレマス以上ハ、政府内部ニ於テモ、是等ノ複雑ナル行政ノ煩瑣ハ此ノ機會ニ一掃セラレルコトガ適當ダト私ハ考ヘル者デアリマスルガ、ドウカ是モ、斯ウ云フ時偶々非常時下ニ於キマシテ、總テノ行政刷新、行政機構ノ改革ト云フ際ニ當然ナサレナケレバナラヌ問題デアリマスノデ、是等ノ點ニ付テモ善處セラレンコトヲ希望スル者デアリマスガ、此ノ機會ニ一ツ御所信ヲ承ツテ置キタイト思ヒマス

○林政府委員 只今ノ御質問デアリマスガ、豫ネテ此ノ問題ヲ出ス上ニ於キマシテモ、

關係省殊ニ厚生省ナドトハ十分連絡ヲ執ツテ考慮致シタ積リデアリマス、ソコデ衛生上ノ問題ニ付キマシテハ、厚生省ノ方ニ御任セヲ致シ、事業上ノ問題ニ付キマシテハ農林省ガ關與致シマシテ、今後將來ノ問題ニ付テハ能ク連絡ヲ執リマシテ、只今ノ河野議員ノ仰シヤツタ通り御期待ニ副フヤウニ十分努力ヲ致シタイト考ヘルノデアリマス

○河野委員 次ニ申上ゲテ御答辯ヲ得タイト考ヘマスコトハ、斯ノ如キ劃期的ナ統制ヲ行ハントセラレルニ當リマシテハ、是モ先般豫算總會ニ於テ私ヨリ御願申上ゲタコトデアリマスガ、全國各地方ノ畜産關係官等ノ身分ニ付テ相當ナル向上ヲ考ヘテヤル必要ガアルト思フノデアリマス、是ハ地方ノ業者ニ折衝致シマス際ニ、一地方ノ技術官デアルトカ、一地方ノ技師、技手デアツテ、ソレガ經濟部長ノ監督下、更ニ農務課長ノ監督下、誰々ノ監督モ受ケナケレバナラヌト云フヤウナコトデハ、到底地方ノ各種ノ業界ノ代表ヲ監督致シマス上ニ於テ、甚ダ監督上遺憾ノ點ガ起ツテ來ルト思フノデアリマス、隨ヒマシテ是等ノ各地方ノ畜産主任官、是ハ當然畜産課ヲ獨立セシメマシテ畜産課長トシテ、畜産一般行政ニ付テハ自己

ノ所信ニ於テ堂々ト地方畜産振興ノ爲ニ善處出來ルヤウニ致シマセヌコトニハ、生産者ト是等業者トノ間ニ摩擦ガ起リマシタ際ニ、現在ノヤウナ各府縣ニ居リマスル主任官ノ程度ヲ以テ致シマシテハ、中々監督上、又ハ事業遂行上困難ノ點ガ多カラウト思フノデアリマス、而モ私ノ知ル所デハ地方ニ居リマスル是等ノ畜産主任官ハ相當ノ經驗モアリ、相當ノ人物ヲ以テ當テラレテ居リマス、例ヘバ靜岡縣ノ主任官ノ如キ、是等ノ酪農事業ニ付テハ相當ノ經驗モアレバ、相當ノ知識モアル、一方ノ權威ヲ以テ任ゼラレル人ガ、各府縣ニソレノ配置サレテ居ルノデアリマス、是等ノ主任官ノ身分ハ……

〔池田委員長代理退席、委員長著席〕
現在ノ如クニ致シテ置キマスコトニ依ツテハ、ドウシテモ業者トノ間ニ完全ナル行政ガ出來ナカラウ、法ハアツテモ法ノ運用ノ上ニ於テ地方ノ業者カラ、言葉ハ不適當カモ知レマセヌケレドモ、ナアニアノ技師ガト云フヤウナコトデ、課長ニ頼メバ、誰ニ頼メバト云フヤウナコトデ、是等ノ技師者ガ本法運用ノ上ニ於テ威力ガ足りナイ、斯ウ云フヤウナコトハ理窟ノ上デハナイカモ知リマセヌケレドモ、實際ノ上ニ於テ相

當支障ガアルト私ハ思フノデアリマス、當然當局ニ於キマシテハ是等ノ技術者又ハ地方畜産課ノ獨立ト云フコトヲ速ニ實行セラレルヤウニ、本省ニ於テ萬全ノ努力ヲ拂ハレルコトガ適當デアルト思フノデアリマス、之ニ對スル御所見ヲ質シテ置キタイト思ヒマス

○林政府委員 畜産課ノ獨立ニ付キマシテハ、各府縣ニ依リマシテ、マダ今日畜産課トシテ出來テ居リマスノハ極ク少數デアリマスガ、只今河野議員ノ仰シヤツタ通りニ、生産者ナドト對立シテ行ク上ニ於テ其ノ必要ヲ十分認メテ居リマス、隨テ將來善處致シタイト云フ積リデ居ルノデアリマスガ、其ノ點ニ付キマシテハ豫算其ノ他ニ關係スル所デアリマスカラ、只今確然タル御返答ハ致シ兼マスガ、十分將來其ノ必要アリト認メマシテ、考慮致ス積リデアリマス

○河野委員 大變結構ナ御答辯ヲ得マシテ、定メシ地方ノ主任官モ其ノ政府ノ御決意ニ對シテ感謝シテ本法運用ノ上ニ萬全ヲ期スルコトト考ヘマス、而モ斯ノ如キ御言明ガアレバ、假令其ノ實施ガ一年遅レマシテモ、又ハ二年遅レマシテモ、地方ノ業者ニ對シテ是等ノ主任官初メ、畜産關係官ガ相當ノ權カヲ以テ臨ムコトモ出來マスルシ、又其ノ

間ニ於テ自ラ圓滿ナル解決モ期スルコトガ出來ルヤウニナリマスノデ、本邦畜産界ノ發展ノ爲慶賀ニ堪ヘナイコトト思ヒマス、而モ御答辯ハ御答辯ギリト云フコトデナシニ、必ズヤ明年度明後年度ノ、即チ昭和十五年度以降ノ豫算ニ於キマシテ、順次是等ノ主要ナル畜産府縣ニ付テハ其ノ實現ヲ期スルベク中央當局ニ於テ萬全ヲ期セラレンコトヲ重ネテ御願ヒ致シマス

次ノ御尋ニ移リマス、斯ノ如ク致シマシテ政府ニ於テ我國ノ畜産振興ノ爲ニ、豫算ノ上ニ於テモ萬全ヲ期スル、ソレカラ又地方ノ畜産課ノ獨立、主任官ノ身分ノ向上ト云フヤウナコトニ努力セラレマスルニ件ヒマシテ、更ニ御考慮ヲ願ヒタイコトハ、當局ノ御意思ヲ此ノ際確定的ニ一ツ御述べ下サレタイコトハ、現在我國ノ乳牛地帶ト云フモノハ非常ニ偏在致シテ居リマス、此ノ偏在致シテ居リマスル原因ガ一體那邊ニ在ルカ、隨テ其ノ原因ニ基イテ如何ニシテ今後新興乳牛地帶ヲ建設スルコトニ努力セラレル積リカト云フコトハ、當然考ヘラレナケレバナラヌ問題ダラウト思フ、私ハ此ノ機會ニ申上グルコトハ不適當カモ知レマセヌケレドモ、例ヘバ米ノ増産ヲ期スル上ニ於テ、唯單ニ、漠然ト害蟲驅除ニ依ツテ二

割ノ増産ヲスルトカ、ヤレドウ云フコトヲシテ何トカト云フヤウナ、マルデ何ト申シマスカ、馬鹿々々シクテ吾々が想像出來ヌヤウナ行政ノ仕方デハ、吾々著實ニ農業ノ振興ヲ期スル者ニハ満足ハ出來ナイノデアリマス、ソレヨリモ我が畜産業界ニ於キマシテ其ノ原因ガ一體何處ニ在ルカ、今日マデ發展シテ來タ原因ガ那邊ニ在ルカト云フ原因ヲ研究シテ、今後ノ建設地帶ニ於テ是等ノ點ニ付テ考ヘル必要ガアルト云フコトニ留意シ、邁進セラレルコトガ、畜産局長ノ當然ノ使命デアルト私ハ思フノデアリマス、吾々が我が畜産局長ヲ技術官ヲ以テ之ニ充ツベシト主張シタノモ此ノ點ニアルノデアリマス、從來ノ如クニ事務官ノ局長デアリマシテハドウシテモ一般ノ行政事務的ニ取扱ハレマスノデ、畜産ノ如クニ五年十年ヲ期シテ本當ノ畜産ヲ建設スルト云フ行政官ハ、ドウシテモ經驗ト、是等ニ對スル研究ヲ持ツタ人デナケレバナラヌ、將來永久我が畜産局長ハ技術官ヲ以テ充ツベシト吾々が主張スルノハ此ノ點ニ在ルノデアリマス、隨テ岸畜産局長ニ於カレマシテモ是等ノ吾々民間ノ要望ニ副フベク、又ハ是等ノ吾々民間ノ要望ヲ満足セシムベク十分ナル御努力御決心ヲ以テ今後我が各

地方ニ於テ、例ヘバ北海道ノ先進地ニ亞グニ千葉、神奈川、兵庫、靜岡ト云フヤウナ地帶ヲ三年後五年後ニハ、是等ニ、優ルトモ劣ラザル地方ヲ各地ニ建設スルコトガ必要デアルト私ハ思フノデアリマス、是等ニ付テ一體ドウ云フ用意ガオアリカ、ドウ云フ決心ヲ以テ御臨ミカ、吾々ハ今マデノ畜産行政ノヤリ方ニ満足シテ居ルモノデハアリマセヌ、馬ノ下敷ニナツテ、何時デモ馬ノ添物ニナツテ、恰モ刺身ノツマノヤウナ畜産行政ニ満足スルモノデハナイノデアリマス、即チ馬政局ガ獨立致シマシテ、純粹ナ畜産局ニナリマシタコトヲ吾々ハ心カラ喜ビマシタ一人デアリマス、併シ馬政局ガ離レテモ舊態依然タル畜産局デアリマス以上ハ、吾々ハ甚ダ失望スルモノデアリマス、モウ既ニ畜産局ハ分離致シマシテ、茲ニ相當ノ年月ヲ經過致シテ居ルモノデアリマスカラ、其ノ間ニ於ケル準備ヲ以テ新畜産建設ノ爲ニ邁進セラレル時機ニ到達致シテ居ルト思フノデアリマス、幸ニ時モ好シ、又陣容ニ於テモ遺憾ナク備ツテ居リマスル此ノ情勢ニ於キマシテハ、一ニ岸畜産局長ノ御決心ニ依ツテ相當ノ期待ガ吾々ハ得ラレルモノデアルト考ヘルノデアリマスカラ、此ノ機會ニ其ノ所信ヲ御述べアラン

コトヲ御願スルモノデアリマス

○岸政府委員 將來ニ於ケル酪農業ノ振興ニ對スル方針ヲ御尋ニナツタノデアリマス、現在乳牛地帯ト云フモノハ北海道ナリ或ハ千葉ナリ静岡ナリニ發達シテ居ルト云フ經過ハ、一方ニ於テ自然的ノ條件又經濟上ノ點カラ云ヒマスルト、農業立地ノ條件ト云フモノハ、宜イ所ニ先覺者ガアツテ乳牛ノ飼育ヲ始メルト云ツタコトガ基ニナリ、ソレヲ因子トシテ發達シテ來テ居ルノデアリマス、併シ今日ノヤウニ國家的ニ斯ウ云フ生産ヲドウシテ行クカト云フコトニナリマス、ソレノミデハイケナイト思フノデアリマス、隨ヒマシテ私共今此ノ計畫ヲ進メテ行クニ付キマシテハ、乳牛ノ有スル性能ヲ十分發揮シ得ルヤウニ進メテ行ツテ、ソレガ經濟ニ合ヒ、國家ノ計畫スル目的ニ合フヤウニ導イテ行カナケレバナラスト思フノデアリマス、隨ヒマシテ今日ニ於キマシテハ將來ノ計畫ニ順應シテ、其ノ生産ヲ擴充シテ行ク爲ニ十分地方ニ於ケル農業立地ノ關係ヲ調整致シマシテ、此ノ飼育ガ相當ナ規模ニマデ伸ビ得ル所ニ重點ヲ置イテ、之ヲ指導ヲ集中シテ行クト云フ風ニ導イテ行カナケレバナラスト思フノデアリマス、勿論其ノ發展ノ過程ニ於テ、或ハ又市乳ノ

ヤウナ形ヲ取ル所モアルデアラウト思ヒマスシ、又更ニ進ンデ加工ノ方法ヲ採ル所モアルデアリマセウガ、ソレハ其ノ立地ノ廣サ、大イサ、深サト云フヤウナ所ニ關係スルデアラウト思フノデアリマスガ、サウ云フ風ニ致シマシテ、堅實ナル基礎ノ下ニ伸ビテ行クヤウニシテ行キタイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス、デ明年度以降ニ於キマシテノ生産力擴充ニ於テハ、各種家畜ノ増殖ヲヤルノデアリマスガ、先程御示シナリマシタ馬トノ關係ニ付テモ、若シ牛ヲ飼育スルコトニ依ツテ、馬ノ方面ヲ幾ラカデモ助ケ得ルト云フヤウナ點ガアリ、サウ云フヤウナ條件ガ成立スル所ニ付テハ、其ノ點ヲ十分考慮シテ仕事ヲ起スヤウニヤツテ行キタイ、斯ウ考ヘテ居リマス、現在ニ於キマシテ私共ハ其ノ計畫ヲ地方的ニ導クコトヲ、ドウ云フ風ニ計畫的ニヤツタラ宜イカト云フコトニ付テモ、地方ニ照會ヲシ各種ノ因子ヲ調査——踏査シテ貰ツテ、ソレニ從ツテ計畫ヲ立ツテ行キタイ、斯ウ考ヘテ居リマス

○河野委員 本法ノ施行期日ハ一體何時頃ニナリマスカ、吾々トシテハ出來ルナラバ四月一日カラデモ實施シテ戴キタイト思フノデアリマス、同時ニ其ノ施行ト

伴ヒマシテ、現在各府縣ト申シマスドウカ知レマセヌガ、例ヘバ北海道廳デアリマストカ神奈川縣デアリマストカ、既ニ酪農業ノ統制ニ對スル道廳令、縣令ト云フヤウナモノガ出テ居リマスモノハ、是ハ本法施行後ニ於テドウ云フ關係ニナリマスカ、ソレニ付テ一ツ御答ヲ願ヒタイト思ヒマス、是ハ局長デモ參與官デモ宜シウゴザイマス

○林政府委員 勅令トノ色々ノ關係ガアリマスカラ、成ベク早く出シタイト思ヒマス、色々地方トノ關係ニ基イデ支障ガナイヤウニ十分調査致シマシテ、成ベク早く致シタイト考ヘテ居リマス

○河野委員 地方トノ關係ハドウデスカ

○岸政府委員 地方トノ關係ハ大體建前ニ於テハサウ打突カルコトハナイト思ヒマス、勿論是ハ相談致シマシテ、此方ニ合フヤウニヤツテ貰ヒタイ、斯ウ考ヘテ居リマス

○河野委員 サウ致シマス、本法施行前ニ、地方廳令デ實施致シテ居リマスルノハ、本法ニ基イテ、此ノ運用ニ並行シテ行クヤウニ變ヘルヤウニ御協議ニナルト諒承シテ宜シウゴザイマスカ

○岸政府委員 サウ云フ御解釋ノ通りデアリマス

○河野委員 實ハ例ヘテ申シマスレバ、縣

デヤツテ居ルモノハ神奈川縣デラウト思フノデアリマスガ、神奈川縣ノ實例ヲ見マシテモ、茲ニアリマス酪農業委員會ノ地方委員會ヲ作り、其ノ委員ノ構成云々ト云フヤウナコトガ示サレテ居リマスガ、此ノ構成ノ仕方ト神奈川縣ノ構成ハ違ツテ居リマス、サウ云フヤウナコトハ一體ドウ云フコトニナサルカ、是等ハ地方ノ實情ニ依ツテ變ヘ得ルコトガアルノカナイノカ、ソレ等ニ付キマシテモ餘程慎重ニ取扱ツテ戴キマセスト、例ヘテ申シマスレバ酪農地帯ガ數郡ニ分レテ居ルト云フ場合ニ、何處ノ郡カラ生産者ノ代表ヲ出シテ何處ノ郡カラ出サスト云フコトモ困難デゴザイマス、人數ハ五人ト云フコトニナツテ居リマスガ、五人ニ限定スルコトガ適當カドウカト云フコトモ困難デゴザイマス、斯ウ云ツタ實情ガアリマスノデ、ソレ等ノ點ニ付テハ必ズシモ劃一的ナ行政ノ指導方針ガ正シイトハ私ハ考ヘラレナイト思ヒマス、隨テソレ等ニ付テハ地方ノ實情ヲ十分斟酌ヲシテ戴キマシテ、萬遺憾ナキヤウニ願ヒタイト思フノデアリマス、吳々モ申上ゲテ置キマスガ、施行期日ハ一日モ早カラントラ御願致シマス所以ノモノハ、此ノ機會ニ於テ申上ゲナクテモ宜イノデアリマスガ、先程モ畜産局長ニ私的ニ

申上デマシタ通り、本法施行ヲ目前ニシマシテ、業者ノ色々策動致シマスモノヲ吾々ハ見聞致ス者デアリマスガ、是等ノ業者ガ徒ニ地方ヲ混亂ニ陷レマス結果、地方ノソレゾレ畜産組合、其ノ他ノ團體ニ關係致シテ居ル者ト致シマシテハ、非常ニ迷惑ヲスルノデアリマス、隨テ是等ニ付テハ例ヘバ施行期日ガ只今御話ノヤウニ多少遅レマスニ致シマシテモ、其ノ間ニ於テ暫定的ノ當局ヨリ適當ナル指示ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、即チ何レ是等ノ業者ハ酪農業組合ノ組合員ニナルモノト考ヘマスノデ、當局ニ於カレマシテハ是等ノ業者、購買ヲ致ス者ニ對シマシテ、斯ノ如キ無理解ナルコトヲ致シマセヌヤウニ、嚴重ナ一ツ御取締ト申シマスガ、行政上ノ運用ノ妙ヲ得テ、然ルベク善處シテ戴キタイ、吾々ト致シマシテハ今日非常ニソレ等ノ點ニ於テ痛感致シテ居リマス各種ノ實例ガアルト思フ、偶、此ノ機會ニ申上ゲテ一ツ御願致シテ置キタイト思ヒマスノハ、神奈川縣ニ於キマシテハ本年ノ二月カラ實ハ牛乳ノ縣營検査ヲ始メタノデアリマス、二月一日ニ縣營検査ヲ始メマスニ先グチマシテ、業者ガ非常ニ策動致シマシテ、相當ノ混亂ヲ見タノデアリマス、所ガ其ノ當時ニ於キマシテハ斷乎トシテ是

等ヲ抑ヘタノデアリマス、所ガ本法案ガ愈々會議ニ提出セラレレ、施行期日モ何レ近々ノ内ニ定マルト云フコトヲ耳ニ致シマシタ業者ハ、更ニ前回トハ變ツテ非常ニ惡辣巧妙ナル手段ヲ以テ地方ノ生産業者ヲ攪亂シテ居ル事實ガアリマスルノデ、是等ハ獨リ神奈川縣ダケノ問題ニアラズシテ、ソレゾレノ地方ニ於テ必ズヤ私ハサウ云フ問題ガ起リ得ルコトト思フノデアリマス、是ハ業者ノ無自覺ニ依ツテ起ルト云フ當局ノ御話デアリマシタケレドモ、併シ無自覺ニシロ、自覺アツテノコトニシロ、吾々生産者ヲ統率シテ是等ヲ善導致シテ參リマスル立場ニ居ル者ト致シテハ、非常ニ迷惑ヲ致ス者デアリマスカラ、是等ニ付テハ速ニ善處セラレンコトヲ他ノ機會ニ御願ヲ致シマシテ、又局ノ適當ナル此ノ機會ニ所信ヲ御述べ戴ケレバ結構ト思ヒマス

○岸政府委員 只今ノ御話ハ私共甚ダ宜クナイコトダト思ツテ居リマス、此ノ點ニ付テハ何等カノ形デ注意スル積リデアリマス、○河野委員 最後ニ一ツ、是モ本法運用後ニ於ケル當局ノ御所信ヲ質シテ置キタイノデアリマスガ、先日モ實ハ申上ゲマシテ、當局カラ然ルベクト云フ御答辯ヲ戴イタノデアリマスルケレドモ、實ハ本法施行後ニ

於キマシテ、當局ノ行政ノ對象ニナリマス法人ノ關係デアリマス、例ヘバ一郡ヲ單位ニスル産業組合ヲ作ルコトニ付テ、産業組合ガドウ云フ風ニ考ヘルダラウカ、從來ニ於テハサウ云フモノハ産業組合トシテハ、同意シ兼ネテ居ツタノガ事實デアリマス、併シ斯ノ如ク法律ニ依ツテ統制ヲシヨウト云フコトニナリマスレバ、其ノ對象トナルベキ團體ハ當然必要デアリマシテ、是ハ神奈川縣ニ於キマシテハ、縣ノ主任官ハ、畜産組合デオヤリニナツタラ如何カト云フ意見モ申シテ居リマスケレドモ、吾々考ヘマスルニ、ドウシテモ他ニ豚ナリ馬ナリヲ扱ツテ居リマス産業組合ガ扱フコトハ不適當デアル、ヤハリ乳牛專門ノ組合員ヲ以テ組織スル所ノ産業組合組織ニ依ツテ扱フコトガ適當ダト思フノデアリマス、隨テ是等ノコトガ起リマシタ場合ニ、獨リ是ハ私ガ只今例ニ申上ゲタ問題ノミナラズ、今後新興地帯トシテ興リマス地方ニ於キマシテハ、當然是等ノ問題ガ起ルト考ヘマスノデ、其ノ場合ニ於テ當局ニ萬遺憾ナキヤウ、豫メ畜産局ト經濟更生部トノ間ニ、完全ナル連絡ヲ御取リ置キ下サイマシテ、吾々ノ方カラ出シマシタ書類ガ宙ニ迷フコトノナイヤウニ、此ノ機會ニ特ニ御願致シマス、是モ

實ハ大臣カラ御言明ヲ得テ置イタ方ガ適當ト考ヘタノデアリマスガ、此ノ機會ニ林參與官ヨリ代ツテサウ云フコトノナイト云フコトヲ、御言明置キヲ願ヒタイト思フノデアリマス

尙ホ其ノ問題ト共々ニ關聯致シマスコトハ、組合内ニ於キマシテ、又ハ此ノ法人ノ内部ニ於キマシテ、統制ニ服セザルモノガアツタ場合ニハ、統制ニ服スルヤウニ、地方長官ガ命令ヲ出スコトガ出來ルト云フ規定ガアリマス、此ノ規定ノ發動ニ當リマシテ、地方問題トシテ色々ナ問題ガ起ルコトヲ私ハ惧レルノデアリマス、斯ノ如クニ産業上ノ問題ガ、地方ノ政治問題デアリマストカ、例ヘテ申セバ甚ダ申シニクイコトデアリマスケレドモ、政黨政派ノ關係ノ問題ニナルト云フヤウナコトハ、吾々トシテハ是非非常ニ慎重シマナケレバナラヌ問題デアリマス、所ガ地方長官ガ其ノ強制命令權ヲ發動スル、シナイト云フヤウナコトガ、例ヘバ地方ニ於テ政治的ニ是ノ善惡ガ論ゼラレルト云フヤウナコトノ起リマスコトヲ、甚ダ遺憾ニ考ヘルモノデアリマスカラ、當局ニ於テ是レノ場合ニ於テハ、法ノ發動スベキモノダ、乃至ハスベカラザルモノデアルト云フヤウナコトヲ、豫メ問題ノ

起ラザル以前ニ於テ、或ル程度ノ基準ヲ定メテ置イテ戴キタイ、斯ウ云フコトハ是ハ委員會ニ於テ決メルコトダトカ何トカ仰シヤイマシテモ、地方ニ居リマスル縣知事デアリマストカ、經濟部長デアリマストカ云フ者ハ、何ト云ツテモ地方ノ縣會議員サントカ其ノ他ノ方々ニモ色々氣象ヲサレマス、ソレガモツト深刻ニナリマシテ、政黨政派ノ問題ニナツテ、一方ハヤレト言フ、一方ハヤルナト云フヤウナコトガ、萬々ニモ是等ノ産業問題ト絡ミ合フト云フヤウナコトガアリマス、非常ニ吾々トシテハ遺憾ニ考ヘル問題ガ起ルト思ヒマスノデ、是等ニ付テハ成ベク萬全ノ注意ヲシテ戴キマシテ、中央ニ於テ一ツノ基準ヲ定メテ、地方長官ニ向ツテ内示ヲシテ置イテ戴キタイト云フコトヲ、特ニ此ノ機會ニ御願致シマス、本委員會ヲ通ジマシテ甚ダ長時間ヲ拜借致シマシタコトヲ御託ヲ申上ゲマシテ、私ノ質問ハ是ニテ終リマス

○岸政府委員 林サシカラ御答辯スレバ宜イノデアリマスガ、私カラ代リマシテ御答申上ゲマス、此ノ一郡ヲ區域トスル産業組合、特殊ノ産業組合ト云フヤウナモノハ、大體縣カラ農林省ニ認可ヲ申請シテ居ル譯デアリマス、ソレニ從ツテ認可シテ居ルノ

ガ、例ヘバ北海道ノ酪聯デアルトカ、或ハ山口地方ニ於ケル産業組合ノ乳ノ搬出トカ、或ハ徳島ノ乳ノ搬出トカアルノデアリマス、隨テソレヲ許シテ居ル以上ハ、方針トシテ認メテ居ルト云フコトハ言ヘルト思フノデアリマスケレドモ、養雞組合ノ如ク原則的ニドウスルト云フコトヲマダヤツテアリマセヌカラ、又重ネテソレハ一ツ原則的ニ定メテ、出テ來タ時ニ支障ノナイヤウニ取運ビタイト考ヘマス、今一ツハ地方長官ガ處置ヲスル場合ノ基準等ニ付テハ、研究シテ成ベク御趣旨ニ副フヤウニヤリマス

○田中委員長 坂下君

○坂下委員 私モ大臣ニ御尋シタイト存ジテ居リマシタガ、御都合ガ出來スト云フコトデアリマスノデ、林參與官ニ希望ヲ申上ゲタリ、又政府ノ所信モ伺ツテ置キタイト存ジマス、私モ靜岡縣ノ畜産組合ニ關係シテ居リマスル關係上、靜岡縣ニ於テ酪農業者ト製酪業者トノ間ニ、相剋摩擦ヲ繰返シテ居ツタコトハ事實デアリマシテ、其ノ當時私共ノ考ト致シマシテハ、此ノ種ノ法律ガ出來テ、ソレデ調整ヲシテ貰フコトノ方ガ、却テ酪農業ノ發展上宜イヤウニモ考ヘテ居ツタノデアリマス、惜テ今回此ノ調整法ガ出マシテ、ソコデ公正ナル乳價ノ決定ト云

フコトニ付テ、先回政府委員ニ繰返シノ御質問申上ゲタノデアリマスガ、マダ本員ノ納得シ、安心シ得ル程度ニマデ參リマセヌ、本法ノ運用ニ依リマシテ、中央地方ニ協議會ガ出來テ、乳價ノ公正ナル値段ヲ協定セシメルト云フコトデアリマスガ、先般モ御質問申上ゲタヤウニ、ドウモ公正ナル値段ヲ出スコトハ相當困難デアル、ソコデ若シ公正ナル値段ガ出ナイデ、相剋摩擦ヲ再ビ繰返スコトニナリマス、本法ニ依ツテ製酪業者ニ特權ヲ與ヘ、獨占セシムルコトニナツテ居ルノデアリマスカラ、過去ニ於ケル自由協定ニ依ル間ノ相剋摩擦トハ違ツテ、農民ハ國家ヲ怨ムトカ、或ハ政府ヲ呪フト云フヤウナコトニマデ行クコトヲ私ハ惧レル、所謂共存共榮ノ實ヲ失フヤウナ乳價ノ決定ガアリト致シマスレバ、由々シキ問題ヲ惹起ス、斯ウ思フノデアリマス、殊ニ時局下ニ於テ尙更私ハサウ云フコトヲ心配スルモノデアリマス、近頃ノ農村ニハ相當不平ガアリ、不滿ガアルコトヲ御認識ス願ヒタイト思フノデアリマス、農民ハ純情デアリ、醇朴デアルト御考ニナツテ居ツタニ違ヒナイシ、又サウデアツタノデアリマスガ、事變勃發以來ノ農村ハ決シテ以前ノヤウニ唯醇朴デアル、質朴デアル、決シ

テ不平ヤ不滿ハ言フモノデナイト云フヤウニ御考ニナツテ居ルトスレバ、是ハ大變ナ間違ダト思フ、然ラバ時局下ニ於ケル農村デハドウ云フ點ニ不平ヲ持ツテ居ルカト申シマス、ドウモ農民ニ對スル扱ヒ方ト、他ノ職業ニ對スル扱ヒ方トニ差別ガアルヤウニ私ハ思フ、農民モ爾ク考ヘテ居ル、マア一例ヲ擧ゲテ申シマスレバ、農産物ノ供出ヲ割當ル、大麥ノ供出ヲ各農家ニ割當テマシテモ、軍部ノ方デハ値段ヲ幾ラハツキリ示サナイ、又金ノ支拂モ何時々ト云フコトガハツキリシナイ、サウシテ二月半若クハ三月經ツテカラ其ノ値段ガ決定シテ參リマス、運賃、包裝料、或ハ倉敷、手數料、積卸、金ニ困ツテ中途ニ内金ヲスレバ、産業組合デ其ノ又利息ト云フヤウナモノヲ計算致シマシテ、差引幾ラニナルノ、値ハ幾ラデアルケレドモ、差引幾ラニナルト云フ支拂ツテ居ル、ソレガ又極メテ安イノデス、ソレデモ此ノ時局下ニ於ケル供出デアアルカラ已ムヲ得ナイトシテ、農民ハ今マデ怵ヘテ居ツタ、中ニハ餘リ氣ノ毒ダト云ツテ、町村デ戸數割カラ其ノ損失ヲ補ツタ所サヘモアルノデアリマス、又「ガソリン」ノ原料ニスルト云フ甘藷ノ供出ニ付テモ、其ノ儘賣レバ十

錢乃至十二錢ニ賣レルモノヲ切乾ニシテ一貫目八錢ニシカ付カナイヤウナコトヲシテ、供出ダト云ツテ割當テテ無理ヤリニ供出ヲ命ズル、斯ウ云フコトデス、然ラバ他ノ業者ニ斯ウ云フコトガアルカ、商工業者ノ方ニ向ツテ供出ヲ命ジタ、元値ヲ切ツテ出サセタト云フ例ガアルカト申シマス、サウ云フモノハ斷ジテナイト私ハ思フ、未ダ會テ聞イタコトハナイ、ノミナラズ商工業者ニ對シテハ相當ナ利潤ヲ與ヘテ買上ヲヤツテ居ル、斯ウ云フ所ニ非常ナ差別ガアル、又一面出征者ノ遺家族ニ付キマシテモ、官吏ニ致シマシテモ、會社ノ従業員、職工等ニ至ルマデ、皆現職ノ僱俸給ヲ満足ニ支給サレテ居ル、所ガ農民ノ子弟ガ召集サレマシテモ、之ニ對シテハ、軍事扶助ガアルト申サレマスカモ知レマセヌケレドモ、軍事扶助ヲ除ク何モノモナイノデアリマス、其ノ軍事扶助タルヤ、其ノ日ガ送レナイ、食ハレヌト云フヤウナ人ニノミ僅ナ扶助ヲスルノデアツテ、官吏或ハ會社ノ従業員、事務員ト云フヤウナ人達ノ待遇ニ較ベルト、連モ比較ニハナラヌ、偶、扶助ヲスルト申シマシテモ、農民デ言ヒマスト一人三十五錢ト云フヤウナ見積リデアリ、サウシテ六十歳以上十六歳以下ト、到底生活ノ出來ナイ人

ダケヲ計算シ、中ニ十八九、二十ニナル働ケル人ガアルトスレバ、其ノ働ク人ノ收入ヲ差引イテ、其ノ差額ダケヲ支給スルト云フヤウナ辛イ計算ニ依ツテ扶助サレテ居ル、斯ウ云フコトニ依ツテ農民ハ非常ナ不平不滿ヲ持ツテ居ルコトヲ御承知願ヒタイ、殊ニ殷賑産業ニ從事シテ居ル人達ガ、非常ナ儲ケヲシテ、而モ豪奢ノアラシ限リヲ盡シ、尙ホ其ノ上ニ一方デハ土地ヲ買フ、或ハ貯蓄ヲスル、斯ウ云フヤウナコトヲ見セ付ケラレテ居ルノデ、非常ナ不平不滿ヲ持ツテ居ル、又農村ニ關係シテ居ル人々ニ對シテハ寄ルト觸ルト此ノ事情ヲ懇ヘルノデアル、デ私共御尤デアル、御尤デアルケレドモ此ノ時局下ニ於テ農村ノ一角カラ不平不滿ガ出デ、サウシテ銃後ノ結束ガ破レルト云フコトニナルト大變ダカラ先ヅ戰爭ノ終マデハ隱忍自重シテ呉レ、吾々トシテモ出來ルダケ農村ノ爲ニ、農民諸君ノ爲ニナルヤウニ努力ハスルガ、何レニシテモ戰爭ガ片付クマデ隱忍自重ガ必要デアル、殊ニ諸君ノ子弟モ澤山兵隊ニ行ツテ居ルコトデアルカラ、若シモ銃後ノ結束ガ紊レルヤウナコトガアルナラバ、諸君ノ子弟ニ對シテモ申譯ガナイカラト云フヤウナコトヲ申シテ有メテ居ルヤウナ次第デアリマス、サウ云

フコトガナイニ致シマシテモ世ノ中ノ文化ハ日ニ増シ向上發展シテ居ルニ拘ラズ、獨リ農村ダケハ取殘サレテ居ル、十年前モ二十年前モ、今モ文化ニ惠マレテ居ナイト云フコトト、生活ガ安定シテ居ナイト云フコトハ是ハ事實デアル、農林當局ニ於キマシテモ年々歳々色々法律案ヲ作ツタリ或ハ多種多様ナ豫算ヲ取ツテ農村ノ爲ニ、農民ノ爲ニ御心配下サルコトハ認メテ居リ、又私共モ多トスルモノデアリマスガ、豫算ヲ取り、法律案ヲ作りマシテモ、マア汚ナク言ヘバ雜草デモ刈取ルヤウナ事柄デ其ノ根幹ニ觸レテ居ナイ、所謂農村政策ノ根幹ニ觸レテ居ナイ問題ヲ提ゲテ、サウシテ農民ヲモ人竝ノ生活ヲサシテヤラウ、農村モ餘リ公平ヲ缺カナイヤウニ文化ノ向上發展モサシテヤラウト云フ大キナ考ヘ方ニ依ル政策ヲ御考ニナツタコトガナイヤウニ思フ、最中申上デマシタヤウニ農村ニ非常ナ不平モアリ、不滿モアルコトヲ御認識ニナレバ、此ノ際農林當局トシテハ大イニ考ヘナケレバナラヌト思ヒマス、若シモ此ノ酪農業調整法ガ施行ニナツテ、私ガ心配シテ居リマスヤウナ特權ヲ與ヘラレタ製酪業者ノ方ニ横暴ガアリ、共存共榮ナドヲ考ヘナイト云フヤウナコトニ依ツテ、多數ノ農民ガ虐ゲラレ、壓迫サレルト云フヤウ

ナコトヲ此ノ際惹キ起シマスレバ、前カラ持ツテ居リマスル不平不滿ガ之ニ合流シテ遂ニ由々シキ問題ヲ農村カラ惹キ起スト云フコトガ必ズシモナイトハ言ヘヌノデアリマス、サウシタヤウナ事柄ニ付テ農林當局トシテハ將來ノ農村對策ニ付テ、所謂現在ノ農村實情ヲ能ク知ツテ、之ヲドウ云フ風ニ考ヘテ居ラレルカ、先ヅ其ノ所信ヲ一ツ伺ツテ見タイと思ヒマス

○林政府委員 坂下議員ノ御質問ニ御答致シマス、今日ノ農村ガ他ニ比較致シマシテ、非常ニ逆境ニ立ツテ居ルト云フコトモ私共農村ニ育チマシタ者トシテ、坂下サンノ只今仰ツシヤイマシタ體驗ヲ伺ヒ又御話モ幾タビカ聞カサレテ居ル點デアリマス、隨テ此ノ度ノ酪農業調整法案ノ通過致シマシタ時ハ、十分生産者側ニ對シマシテ考慮致シ、萬遺漏ナキヤウ期シタイト思ツテ居リマス、農村ノ問題ニ付キマシテハ其ノ他ニ付キマシテモ十分私共自ラモ體驗ヲ致シテ居リマスカラ、其ノ點ハ御諒承願ヒタイト思ツテ居リマス

○坂下委員 マダ、ピント來ルマデニ御答辯ガナイヤウニ思ヒマスガ、ソレニシテモ能ク農村ノ實情ヲ御存ジノ林參與官デアルカラ、諄々シク申シマセヌガ、此ノ際政府トシテハ農村ニ對スル一大決心ヲ以テ雜草

ヲ刈取ルヤウナ細カイ法律ヲ豫算デナク、思切ツテ農村ヲ人生ノ地位ニ更生サセルト云フコトノ大政策ヲ一ツ立テテ戴キタイト思ヒマス、一例ヲ擧ゲテ言ヘバ、必ズシモ咄嗟ノ間ニ考ヘタコト良イコトトモ存ジマセヌガ、大政策ト云ヘバ農業ヲ國營ニスルトカ、或ハ此ノ頃流行ノ半官半民ノ國策會社ヲ拵ヘテ、サウシテ會社デ農業ヲ經營スルト云フヤウナ、思切ツク、根幹ニ觸レタ革命的ノ政策ヲ立テテ見ルヤウナ御研究ガ願ヒタイト思ヒマス、サウシテ繰返シヤウデアリマスガ、農村ハ非常ナ不平ヲ持ツテ居ルト云フコトヲ十分御認識ヲ戴キタイ、此ノ時局ガアリマセヌデモ、國民ノ食糧ヲ作ルコトヲ擔任シテ居ル農民ガマルデ奴隸ノヤウナ地位ニ置カレテ、致々營々ト粗衣粗食ニ甘シテ働イテ居ツテモ、人並ノ生活ガ出來ナイト云フコトハ、是ハ無理デア

ル、何トカシテ是ハ經濟機構ヲ變ヘナケレバナラス、社會制度モ變ヘナケレバナラスト私共思ツテ居ル、又農民モサウ云フコトヲ希望シテ居ル、サウ云フ場合ニ又此ノ時局デ、最前申上ゲタヤウニ、他ノ人達トハトモ話ニナラナイ差別待遇ヲ受ケテ不平ヲ戴キタイ、サウシテ此ノ乳價ノ決定ヲ爲ス場合ニ當リマシテモ、相當御注意ヲ願ヒタイト思ヒマス、私ハ附帶決議ニ致シテ戴キタイ位ニ思ヒマシタガ、サウ云フコトデナク、希望ヲ申上ゲタイト思フノデス、斯ウ云フ意味デス、結局政府ハ中央、地方ノ協議會ニ於テ乳價ノ決定ヲ爲スニ當リ、牛乳ノ生産費ト煉乳、粉乳、「バター」等ノ加工費ヲ精密ニ調査シテ、共存共榮ノ實ヲ擧ゲシムルヤウニ公正妥當ナル乳價ノ決定ヲ爲サシムベク最善ノ指導監督ヲ爲シテ欲シイ、斯ウ云フ希望デアリマス、若シモ此ノ希望ヲ裏切ツテ、最前カラ繰返シテ申上ゲテ居ルヤウニ、公正ナル乳價ガ出ナイト云フコトニナツテ、多數ノ農民ガ虐ゲラレルト云フヤウナコトニナリマス、由々シイ大事ヲ惹起スト云フコトヲ能ク御認識ヲ願ヒタイト存ジマス、私ノ質問ハ是デ終リマス

○田中委員長 質疑ハ結局致シマシタ、是ヨリ討論ニ入リマス——池田君

○池田委員 私ハ本案ノ成立ヲ希望スルモノデアリマスガ、併シ本案ヲ根本的ニ討究シテ見マシテ、基本的ニ遠大ナル政策ノ現ハレガナイコトヲ甚ダ遺憾トスルノデアリマス、特ニ當局ノ御答辯ニ依リマシテモ、斯ノ如キ片鱗ガ現ハレテ居ラスコトヲ甚ダ遺憾トスルノデ

アリマス、私ハ質問ノ際ニモ申上ゲタノデアリマスガ、國民ノ榮養食品トシテノ保護獎勵ト云フヤウナ見地ニ立ツテ、需給ノ圓滑、豐富低廉ナル牛乳ヲ供給スルト云フ意思ニ基イテ居ラナイコトヲ甚ダ遺憾トスルノデアリマス、時局柄爲替關係カラ輸出ヲ獎勵サレルト云フ意思ガ當局ノ御答辯ノ中ニモ現レテ居ルヤウデアリマスガ、私ハ寧ろ左様ナコトハ區々タル問題デアルト思フ、年々百万ツツ生レル乳兒ガ榮養不良ニシテ不完全ナ發育ヲ遂ゲル者ガ非常ニ多ク、壯丁等ノ體格ガ低下シツツアルト云フ傾向ハ乳兒ノ間ニ意ヲ用ヒテ之ヲ養育シナイコトニ原因スルノデハナイカト思フノデアリマス、政府ハ一方ニ於テ非常ニ馬政等ニ力ヲ入レテ、河野君アタリノ質問ニモアリマシタガ、馬ニノミ重キヲ置イテ居ルガ、乳政局ト云フヤウナ遠大ナ計畫ヲ立テテ良キ榮養食品ヲ充實セシムルト云フ方途ニ、此ノ政策ガ出テ居ラスコトハ甚ダ遺憾デアリマス、此ノ點ヲ基調トシ、法案ガ目途トシテ居ルノヲ親フコトガ出來ナイノヲ甚ダ遺憾トスルノデアリマス、甚ダ幼稚デアツタノデアリマスケレドモ、明治維新ノ當時ニ於テハ、廢藩置縣、秩祿廢止ニ伴フ失業武士救済ト云フ目的カラ殖産興業ト云フ一石二

鳥ノ産業制度ヲ確立セラレタ時ノ大久保卿ノ抱負ノ如キハ勸農、牧畜、開墾政策ガ相當ノ目途デ立テラレテ居ツタト思フノデアリマスガ、本法案ニ於テハ斯ノ如キコトヲ本法提出ノ當初ニ於テモ述べラレザリシヲ甚ダ遺憾トスルノデアリマス、私ハ斯ウ云フ方面カラ言ツテ、モット厚生省ヤ文部省デ協調ノ下ニ、根本的ニ國民ノ榮養食ノ國策ヲ樹立セラレルトコトガ必要デアルト思フノデアリマス、斯ウ云フ意味ニ於テ獨逸ヤ瑞典等ノ一簡年一人當リノ牛乳消費量二石及ビ二石五斗ニ對シ、東京、大阪ノ消費量ダケデモ僅ニ二升ヤ三升シカナイ、之ヲ一日ニ割當テレバ、量ヲ計ル所デハナイ、一寸管メタ位ニシカ當ツテ居ラス、是ガ抑、子供ノ内カラ玉ノヤウニ太ツテ、段々良ク育ツテ行クノト、子供ノ内カラヒネクレテ榮養不良デ、十歳ヤ十五歳ニナツテカラ意ヲ用ヒテ完全ナ體格ヲ持ツコトガ出來ナカツタト云フ狀況ニナル根本ニ於テノ相違デバナイカト思フノデアリマス、尤モ明治ノ初メニ於テ榮養食品トシテノ研究ガアツテ、明治六年カニ京都府ノ達ガ出テ居リマスガ、私調ベテ見タコトガアリマスガ、中々振ツタ達ガアリマス、牛乳ハ内ヲ養ヒ、石鹼ハ外ヲ清クシ、内外應ジテ衛生ニ效アリ

ト云フヤウナ達デアリマス、石鹼デ身體ヲ清潔ニシ、牛乳ヲ飲ンデ大ニ榮養ヲ助ケル、ト云フヤウナ達ヲ京都府が出シテ居ルガ、是ハ大久保卿ノ勸農ノ精神ニ基イテ出シタヤウデ、當時ニ於テスラモ牛乳ハ身體ノ内部ニ營養素ヲ攝ツテ強健ナル體格ヲ養成スルニアルト言ウテ居ルノデアリマス、併シ當時ノ國民ノ思想ハ實ニ幼稚ナモノデアツテ、病院デモ「ミルク」ヲ供給シテ、是ハ「ミルク」ト云フ藥ダカラ少シツツ飲メト云フヤウナコトヲ言フテ居ツタ、國民ノ之ニ對スル觀念ガ今尙ホ脱ケナイノデ、隨テ爲替政策等ニ因ハレタル輸出入ノ均衡等ニ重キヲ置イテ、國民ノ根本的ノ體質ヲ完全ニ發達サセルコトト云フニ意ヲ用ヒナイト云フコトガ抑、其ノ現ハレデアルト私ハ思フノデアリマス、文部省ノ政策トシテモ豫算ヲ見マスト僅ニ榮養研究所等ノ設備費ガ少シアルダケデアツテ、其ノ豫算ノ如キハヤハリ祇メル位シカナインデアリマス、厚生省ノ豫算關係ヲ見マスと臨時特別費トシテ四十五萬圓カノ幼乳兒ノ體力向上指導費ト云フノガ計上サレテ居ルノデアリマス、是ナドモ體力向上ノ講義ヲヤツテ聞カセル、或ハ幼乳兒ノ體力向上ノ指導教育ヲスルト云フヤウナ頭デ四十五萬圓ガ計上サレテ居ルノ

ダト思ヒマスガ、是ガ抑、間違ヒナノデアリマス、五歳カ六歳ノ子供ハ養育スベキモノデアツテ、教育スベキモノデハナイ、尤モ日本ニハ昔カラ胎教ナドト云フ精神教育ノ部門ガアルノデアリマスガ、教育ヲスル前ニ先ヅ養育ヲシナケレバイカスト思フ、養育ト教育ヲ教育家デスラモゴツチヤニシテ居ルガ如キ傾ノアルノヲ甚ダ遺憾トスルノデアリマス、幼乳ハ教育スベキモノニアラズ、先ヅ養育スベキモノナリ、營養素ノ十分アル食品ヲ幼乳ニ供給スルコト自體ガ眼目デナケレバナラスノニ、體育向上ノ方面ガ教育ニ墮スガ如キ傾ノアルコトハ抑、養育ト教育トヲ根本的ニ履キ違ヘテ居ル所カラ來テ居ルノデハナイカト私ハ思フノデアリマス、斯ク考ヘテ來マスと國民ノ體質ノ上ガラザル又宜ナリト云フベシデアリマス、政府ハ此ノ點ヲ將來大イニ強調セラレテ、文部省並ニ厚生省等ト連絡サレテ、國民ノ榮養食トシテ之ヲ豐富低廉ニ全體ニ供給スルヤウ努メラシメコトヲ希望セザルヲ得ナイノデアリマス、私ハ本法案ガアルト云フコトハ無キニ優ル萬々デ、此ノ法案ノ出ルコトノ寧ろ遲カリシコトヲ憾ムノデアリマス、併シナガラ現ハレタ議案其ノモノヲ見マスと餘リニ局部的デアリ、餘リニ打算的デアツテ、他

ノ法案ト比較スルト甚ダ貧弱ナルコトヲ遺憾トスルノデアリマス、日本ニハ廣大ナル牧野ガナイカラ酪農業ガ發達ヲシナイデハナイカ、非常ニ不經濟デハナイカ、不採算デハナイカト云フ議論ガアリマスガ、洵ニ其ノ通りデアルト思ヒマス、併シサウ云フモノガナケレバナイヤウニ、持タナケレバ持タナイダケノ方法ガアルト思フノデアリマス、外國人ガ日本ニ來テ日本ハ土地ガ洵ニ狹イ、耕シテ山嶺ニ至ル、以テ貧ナルヲ知ルベシト言ツタト云ヒマスガ、耕シテ山嶺ニ至ル以テ精農振リヲ知ルベシト云フ風ニ之ヲ轉ズルコトガ出來ルト私ハ思フノデアリマス、馬ナラバ牧野千里ト云ウテ、仔馬ノ中カラ驪野ヲ馳驅サセルコトガ必要デアリマセウ、併シナガラ牛ニ至ツテハ僅ニ仔牛ノ中ニ驅ケサセル程度ノ運動場ガアレバ宜イノデアリマス、大キイ牛ニナリマスレバ健康ヲ維持スルダケノ或ハ榮養ヲ消化スルダケノ運動場ガアレバ宜シイト思フ、牧乳ト農乳ノ異ル所ハ此處ニアルト思フ、餘リニ過激ナ勞働ヲサセテハ乳ハ能ク出ナイノデアリマスカラ乳牛ノ運動場ニ要スル土地ノ如キハサウ廣キヲ要シナイ、隨テ廣漠タル牧野ヲ設ケテハ經濟的ニ酪農ガ成立シナイト云フ議論ハ必ズシモ當ラヌト

思フ、廣イ牧野ガアレバ、ソレハ持ツハ持タヌニ優ルコトガ萬々デアリマスガ、私共ノ千葉縣ノ如キハ實ニ耕シテ山嶺ニ至ル所デアリマスガ、土質ガ宜シイシ氣候ガ宜シイカラ濃厚飼料ヲ安ク手ニ入レルコトガ出來サヘスレバ決シテ經營ガ成立ツテ行カヌコトハナイト思フノデアリマス、本法案ヲ見マスと、或ハ是ト關係ヲ持ツ法案ヲ見マスと、牛馬ヲ通ジテノ牧野法ノ如キハ或ハ乳牛ノ牧野トシテノ補助獎勵ノ規定デアリ、又馬ノ牧野ト關聯ヲシテ、牛馬ガ混ツテ牧草ヲ採リ運動スル、其ノ牧野獎勵ノ規定デアルト私ハ思フノデアリマス、是ト比較ヲシテ所謂濃厚飼料ニ依ツテ狹隘ナル土地ニ於テ酪農ヲ營ム者ニ對スル保護獎勵ガ、ドウモ均衡ガ取レナイノデアリマス、即チ北海道ノ業者ノ如ク廣キ牧野ヲ持チ、粗飼料ヲ使ツテ生産ト製酪ト販賣トヲ併セ營ンデ居ル者ト比較シテ、牧野ヲ持タズ、高イ濃厚飼料ヲ買ツテ營ンデ居ル製酪業者トハ洵ニ均衡ガ取レナイノデアリマス、本法ハ大體ニ於テ乳價ヲ統一スルト云フ精神ニ出テ居ルヤウデアリマスガ、之ヲ全國的ニ統一サレルナラバ、廣キ牧野ヲ持タズ、粗飼料ヲ持タズ、狹イ所デ高イ濃厚飼料ヲ買ツテ一二頭ヲ持ツテ副業トシテ經營

シテ居ル者ニ對スル保護獎勵ノ途方甚ダ不公平デアリ、甚ダ之ニ對シテハ保護ノ少ナイコトヲ私ハ遺憾トスルノデアリマスガ、此ノ點ニ付テハ當事者ハ努メテ此ノ法案ハソレニ對應スル爲ニ出來タノデアルト云フコトヲ言ハレテ居ルカラ、私共ハ此ノ當局ノ言明ヲ信賴シテ居ルノデアリマスケレドモ、ドウモ資力ノ少ナイ一頭カ二頭デヤツテ居ル多數ノ副業者カラ成立ツテ居ル畜産組合ノ如キハ意見ガ幾ツニモ分レテ、中々統一ガ取レナイノデアリマス、意見ヲ纏メルコトハ中々困難ナノデアリマス、是ガ爲ニ常ニ叩買ニサレテシマツテ、最後ニハ悲慘ナ失敗ニ終ル者ノ多イコトヲ甚ダ遺憾トスルノデアリマス、神奈川縣ノ如キハ市乳ガ大部分ヲ占メテ居ル、即チ横濱、東京ヲ控ヘテ居ルカラ、一升二十二錢、或ハ二十三錢ニ當ルト云フコトデアルガ、此ノ點ニ付テ距離ニ於テ餘リ違ハヌ所ノ千葉縣ノ如キハ僅カ十九錢デ製酪業者ノ叩買ニサレナケレバナラヌト云フコトハ甚ダ悲慘、甚ダ不公平ナル業者ニ對スル社會情勢デアルト私ハ思フノデアリマス、本法案ハ當局ノ言明ニ依リマスト斯ノ如キ生産業者ヲ補助スル爲ニ出來タモノデアルト申サレテ居ルノデアリマス、洵ニ其ノ通りデアツテ欲シイト私ハ思ヒマ

ス、アトデソレニ關スル協議會ノ規定ガ出來ルト云フコトデアリマスガ其ノ内容ヲ伺ヒマス、生産業者、販賣業者或ハ製酪業者、學識ノ經驗ノアル者ト三者ガ此ノ協議會員ニナツテ乳價ノ決定等ヲサレテ、而モ地方長官ガ其ノ會長ダト云フコトデアルノデアリマス、取引ニ付テハ生産業者ト製酪業者、販賣業者ト任意ニ取引セラレルト云フコトデアリマスケレドモ、併シナガラ價格ノ決定ヲ此ノ協議會ニ依ツテ知事ガ會長トナツテ決メラレル以上ハ、此ノ協議會デ決ツタモノハドウシテモ確定不動ト云フヤウナコトニナルト思フノデアリマス、之ニ對シテ如何ナル結果ニナルカト云フコトハ箇々ノ小サナ業者ハ多數アツテ、此ノ多數決ニ依ツテ行クナラバデスケレドモ、代表者ヲ三分ノ一平均ニ出スト云フニ至ツテハドウシテモ是ハ力ノ多イ、資本ノ多イ製酪業者、或ハ販賣業者等ノ會社ニシテヤラレルデハナイカト云フコトヲ今カラ甚ダ杞憂シテ居ル次第デアルノデアリマス、政府ハ立法ノ趣旨ニ基イテ此ノ點ヲ努メテ多數ノ者ノ不利ニ陷ラヌヤウニ法ヲ運用ヲ能クシテ戴キタイノデアリマス、法ハ死物デアツテ之ヲ運用スルハ人ニ在ルノデアリマス、如何ニ法ガ良クテモ運用ガ惡ケレバイカヌ

ノデアリマス、官吏獨善等ノ聲ガ喧シイノデアリマスガ、私ハ十把一カラゲノ獨善政ノ擊論者デハナイノデアリマス、斯ウ云フ意味ニ於キマシテ本法ハ運用ヲ特ニ生産者ニ重キヲ置イテ戴キタイト云フコトヲ從來ノ弊害ニ鑑ミテ高調セザルヲ得ナイノデアリマシテ、此ノ小サナ生産業者ノ爲ニ萬全ノ注意ヲ拂ハレンコトヲ特ニ希望ヲ致ス次第デアルノデアリマス

要スルニ私ハ本法案ガ出タト云フコトハ出ナイニ勝ルコト萬々デアリマス、唯出タ以上ハ此ノ立法ノ精神ニ基イテ其ノ運用ヲ完全ニシテ戴イテ、益、國民ノ榮養食品トシテノ牛乳ノ價值ヲ發揮スルヤウナ效果ヲ見ルコトノ一日モ早カラシコトヲ希望スルノデアリマス、細カイ點ヲ希望條項ト附帶決議ヲ作ツテ贊成スルト云フコトヲ私ハ申上ゲマセヌ、大體ニ於テ此ノ趣旨ニ基イテ本法案ノ成立スルコトヲ希望スルガ故ニ我ガ民政黨ヲ代表シテ贊成意見ヲ述ベル次第デアリマス

○田中委員長 鹽川君

○鹽川委員 私ハ立憲政友會ヲ代表シマシテ本案ニ贊成ノ意ヲ表スル者デアリマス、今日酪農界ノ現狀ヲ一見致シマスルト、牛乳生産者相互ノ間ニ於キマシテ或ハ又生

産者ト加工業者トノ間ニ摩擦ヲ起シテ、動トモスルト其ノ間ニ不正ノ手段ヲ弄スルコトサヘ起ルノハ世間ニ其ノ例乏シクナイノデアリマス、ソレ故ニ之ヲ自然ノ儘ニ放置スルコトニナリマス、斯業ノ發展ヲ阻礙シ遂ニハ萎靡衰退セシムルニ至ルノハ想像スルニ難クナイノデアリマス、政府ハ是等ノ事情ヲ考察致シマシテ弊害ノ由ツテ來ル所ヲ免除シ、其ノ健全ナル發達ヲ期センガ爲ニ本案ヲ提出セラレタコトハ洵ニ時宜ヲ得タモノト信スルノデアリマス、私ハ本法ガ一日モ早ク實施セラレ、業者ノ期待ニ副ヒ業界ノ發展ニ效果多カラシコトヲ望ム者デアリマス、此ノ法案ヲ通讀致シマシテ其ノ内容ニ於テ四ツノ特徴ガ認めラレルノデアリマス、其ノ一ツハ各府縣ニ酪農協會ヲ設立致シマシテ生産者ト酪農業者ノ代表又知識經驗アル者或ハ關係官吏等ガ集ツテ此ノ團體ヲ組織シ、サウシテ此ノ團體ニ依ツテ自治的ニ乳價ノ決定或ハ供給關係等ノ決定ヲ爲サシメテ、價格ノ公正ト需給ノ圓滑ヲ期シテ居ル、是ガ一ツデアリマス、次ハ生産者ト製酪業者トノ牛乳取引ニ付テ總テ地方長官ノ許可ヲ受クルコトトシテ、之ニ依ツテ不當ナル契約ヲ爲サザルヤウニ保護ヲ致シテ居ルト思ヒマス、次ノ點ハ製

酪業ヲ爲スニハ農林大臣ノ許可ヲ受ケルコトトナツテ居リマス、製酪業者ノ濫立ト云フコトハ牛乳界ヲ混亂セシメテ居ル最大ノ原因デアリマスルカラ、之ニ統制ヲ加ヘルト云フコトハ最も必要ナコトト思ヒマス、次ハ全國ノ酪農界ヲ打ツテ一丸トシタ一組合ヲ組織セシムルコトデアリマス、蓋シ海外ニ對シマシテ製酪品ノ發展ヲ圖ルニ強力ナル團體ヲ作ルハ最も必要ナコトト信ジマス、以上ノ四ツノ點ガ本法ノ眼目ト認メラレ、之ニ依ツテ從來ノ弊害ヲ矯正スルコトガ出來ルト思フノデアリマス、併シ如何ニ法律ガ完備シテモ之ヲ運用スルノハ人ニア

第二ハ牛乳生産者ト加工業者トノ間ニ於テ乳價ノ適正ナル取引ノ行ハレルト云フコトガ本法ノ最も重點ヲ置イテアル所デアリマス、ソレ故ニ乳價ノ決定ニ當リマシテハ行政官廳ハ諸般ノ條件ヲ精密ニ調査シテ、何レニモ偏セザル公正ナル立場ニ立ツテ之ヲ爲スハ當然ノコトデアリマス、萬一何レカニ偏頗ナリトノ非難ヲ受クルニ至リマスレバ、業者ノ信用ヲ失ヒ、本法制定ノ精神ヲ水泡ニ歸セシムルニ至リマスルカラ、此ノ點ニ付テ特ニ御注意アラシコトヲ望ミマス

第三ハ、製酪品ノ海外輸出ヲ増進シ、國際收支ノ改善ヲ圖ルハ今日我が國策上絕對必要ナルコトハ勿論デアリマス、併シナガラ只今ノ現狀ニ於テハ、生産原價ヲ割ツテ輸出ヲ爲シ、延イテハ乳價ニモ影響ヲ及ボス虞ガアリマスカラ、政府ハ此ノ場合ニ於テ、或ハ助成金ヲ交付スルカ、或ハ又損失ノ補償ヲ爲ストカ、何等カ適當ノ處置ヲ執ラルルヤウニ希望ヲ致ス次第デアリマス、以上ノ希望ヲ附加ヘマシテ本案ニ賛成ヲ致ス次第デアリマス

シ此ノ場合當局ニ對シマシテ將來本法案ノ運用上ノコトニ付テ特ニ御注意ヲ願ハネバナラヌト思フコトヲ一二點申述ベテ置キタイト思フノデアリマス

ソレハ牛ノ増殖ノ問題デアリマス、此ノ牛ガ時局下ノ重要ナ軍需品デアルコトハ申スマデモナイノデアリマスガ、更ニ國民ノ必需ノ乳、肉、皮等ノ生産ヲ豊富ニシテ置カナケレバナラス時ニ當ツテ、却テ牛ガドンドン減ルト云フ現象、此ノ現象ヲ見マシテハ、國家トシテモ此ノ自然ノ趨勢ニ任セテ置ク譯ニハ行カヌノデアリマシテ、唯農家ノ經濟上引合フ所ニダケ飼ハセレバ宜イト云フヤウナ行キ方ヲサセル譯ニハ行カヌノデアリマス、ソレバカリデナク、特ニ農業上ノ見地カラシマシテモ、所謂農業經營ノ重要ナ要素デアル所ノ家畜、特ニ牛デアリマス、家畜ナクバ肥料ナク、肥料ナクバ農業ナシト云ツタヤウナ、斯ウ云フヤウナ見地カラ致シマシテ、ドウシテモハ一般農家ニ飼ハサナケレバナラスノデ、ソコデ、一般農家ニ飼ハサナケレバナラスガ、併シ如何ニ重要ナ農業上ノ要素ダト雖モ、肝腎ノ乳價ガ生産費ヲ價ハヌヤウナコトガアリマシテハ、是ハ却テ農家ガ牛ニ食ハレル、牛ニ養ツテ貰フノデナシニ、農家ガ牛ニ食ハレルト云

フヤウナコトニナルノデアリマスカラ、ドウシテモ各地方々々ソレ／＼ノ生産費ヲ基準トシタ乳價ヲ決メサセルト云フコトガ最も必要ニナル、統制トハ決シテ劃一的ノミスルコトニ限ラスノデアリマス、劃一的乳價ノ統制ニ依ツテ、所謂新興地帯ニノミ牛ハ殘ルケレドモ、從來ズツトヤツテ居ツタ古イ地帯ニ於キマシテハ、牛ガ姿ヲ沒スルト云フヤウナコトニナリマシテハ、先程カラ申シマスヤウナ國家的見地カラシテモ是ハ抛ツテ置クコトガ出來ナイノデアリマスカラ、ソコデ今後ノ此ノ乳價問題等ニ付キマシテハ、政府當局ハ遺憾ナク指導監督ヲセラレマシテ、牛ノ増殖ニ事缺カヌヤウニシテ貰ヒタイ、現在ハソレガ爲ニ牛ガ減ツテ居ルノデアリマス、種ガナクナツテシマツテハ如何ニ法案ガアツテモ駄目デアリマスカラ、此ノ點ニ十分御注意ヲ願ヒタイト思フノデアリマス

モウ一ツノ問題ハ、酪農業組合ノ決議權ノ問題デアリマスガ、是ハ先日モ私ハ本委員會中ニ何トカ政府ニ具體的ノ方策ヲ明示シテ貰ヒタイト申上ゲテ置イタノデアリマスガ、ソレガ出來ナカッタヤウデアリマスケレドモ、勿論先程御話ガアリマシタヤウニ、弱小團體ガ強力ナルモノ

酪業ヲ爲スニハ農林大臣ノ許可ヲ受ケルコトトナツテ居リマス、製酪業者ノ濫立ト云フコトハ牛乳界ヲ混亂セシメテ居ル最大ノ原因デアリマスルカラ、之ニ統制ヲ加ヘルト云フコトハ最も必要ナコトト思ヒマス、次ハ全國ノ酪農界ヲ打ツテ一丸トシタ一組合ヲ組織セシムルコトデアリマス、蓋シ海外ニ對シマシテ製酪品ノ發展ヲ圖ルニ強力ナル團體ヲ作ルハ最も必要ナコトト信ジマス、以上ノ四ツノ點ガ本法ノ眼目ト認メラレ、之ニ依ツテ從來ノ弊害ヲ矯正スルコトガ出來ルト思フノデアリマス、併シ如何ニ法律ガ完備シテモ之ヲ運用スルノハ人ニア

其ノ第一ハ牛乳生産者ハ多クハ中小農デアリマスルカラ、是等ノ人ハ極メテ勤勉デアツテ、又醇朴デアリマスル、隨テ是等ノ人ニ對シマシテハ十分ニ同情心ヲ以テ懇切丁寧ニ指導誘掖スルト云フコトガ特ニ大切ト思フノデアリマス、官吏ノ態度ガ高壓的デアリ、獨善的デアツテハ獨リ改善ノ實舉ヲザルノミナラス、畜産發展ノ障礙ニナルト思フノデアリマスルカラ、此ノ點ニ對シテ十分ナル注意ヲ御願致ス次第デアリマス

第三ハ、製酪品ノ海外輸出ヲ増進シ、國際收支ノ改善ヲ圖ルハ今日我が國策上絕對必要ナルコトハ勿論デアリマス、併シナガラ只今ノ現狀ニ於テハ、生産原價ヲ割ツテ輸出ヲ爲シ、延イテハ乳價ニモ影響ヲ及ボス虞ガアリマスカラ、政府ハ此ノ場合ニ於テ、或ハ助成金ヲ交付スルカ、或ハ又損失ノ補償ヲ爲ストカ、何等カ適當ノ處置ヲ執ラルルヤウニ希望ヲ致ス次第デアリマス、以上ノ希望ヲ附加ヘマシテ本案ニ賛成ヲ致ス次第デアリマス

シ此ノ場合當局ニ對シマシテ將來本法案ノ運用上ノコトニ付テ特ニ御注意ヲ願ハネバナラヌト思フコトヲ一二點申述ベテ置キタイト思フノデアリマス

ソレハ牛ノ増殖ノ問題デアリマス、此ノ牛ガ時局下ノ重要ナ軍需品デアルコトハ申スマデモナイノデアリマスガ、更ニ國民ノ必需ノ乳、肉、皮等ノ生産ヲ豊富ニシテ置カナケレバナラス時ニ當ツテ、却テ牛ガドンドン減ルト云フ現象、此ノ現象ヲ見マシテハ、國家トシテモ此ノ自然ノ趨勢ニ任セテ置ク譯ニハ行カヌノデアリマシテ、唯農家ノ經濟上引合フ所ニダケ飼ハセレバ宜イト云フヤウナ行キ方ヲサセル譯ニハ行カヌノデアリマス、ソレバカリデナク、特ニ農業上ノ見地カラシマシテモ、所謂農業經營ノ重要ナ要素デアル所ノ家畜、特ニ牛デアリマス、家畜ナクバ肥料ナク、肥料ナクバ農業ナシト云ツタヤウナ、斯ウ云フヤウナ見地カラ致シマシテ、ドウシテモハ一般農家ニ飼ハサナケレバナラスノデ、ソコデ、一般農家ニ飼ハサナケレバナラスガ、併シ如何ニ重要ナ農業上ノ要素ダト雖モ、肝腎ノ乳價ガ生産費ヲ價ハヌヤウナコトガアリマシテハ、是ハ却テ農家ガ牛ニ食ハレル、牛ニ養ツテ貰フノデナシニ、農家ガ牛ニ食ハレルト云

フヤウナコトニナルノデアリマスカラ、ドウシテモ各地方々々ソレ／＼ノ生産費ヲ基準トシタ乳價ヲ決メサセルト云フコトガ最も必要ニナル、統制トハ決シテ劃一的ノミスルコトニ限ラスノデアリマス、劃一的乳價ノ統制ニ依ツテ、所謂新興地帯ニノミ牛ハ殘ルケレドモ、從來ズツトヤツテ居ツタ古イ地帯ニ於キマシテハ、牛ガ姿ヲ沒スルト云フヤウナコトニナリマシテハ、先程カラ申シマスヤウナ國家的見地カラシテモ是ハ抛ツテ置クコトガ出來ナイノデアリマスカラ、ソコデ今後ノ此ノ乳價問題等ニ付キマシテハ、政府當局ハ遺憾ナク指導監督ヲセラレマシテ、牛ノ増殖ニ事缺カヌヤウニシテ貰ヒタイ、現在ハソレガ爲ニ牛ガ減ツテ居ルノデアリマス、種ガナクナツテシマツテハ如何ニ法案ガアツテモ駄目デアリマスカラ、此ノ點ニ十分御注意ヲ願ヒタイト思フノデアリマス

モウ一ツノ問題ハ、酪農業組合ノ決議權ノ問題デアリマスガ、是ハ先日モ私ハ本委員會中ニ何トカ政府ニ具體的ノ方策ヲ明示シテ貰ヒタイト申上ゲテ置イタノデアリマスガ、ソレガ出來ナカッタヤウデアリマスケレドモ、勿論先程御話ガアリマシタヤウニ、弱小團體ガ強力ナルモノ

ニ虐ゲラレルト云フヤウナコトガアツテハ困ルノデアリマスガ、又半面カラ云ヒマスト、餘リニ不自然ナコトガアツテハ困ル、例ヘバ北海道製酪聯合會ノヤウナ大キナ團體ガ、所謂弱小團體ノ爲ニ、却テ弱小團體ノ數ノ方ガ多イ爲ニ、之ニ虐ゲラレルト云フヤウナコトガ起ツテ來テハ困ルノデアリマス、ソコデサウ云フヤウナ不自然ナコトガナイヤウニ一ツシテ戴カナケレバナラスノデアリマシテ、此ノ決議權ノ問題ニ付テハ、

ア云フヤウナコトガナイヤウニ此ノ酪農組合ノ決議權ニ付テ十分注意ヲ拂ツテ戴キタイ、兩方共無理ガ行カヌヤウニシテ戴キタイ、是ダケノコトヲ希望致シマシテ原案ニ賛成致ス者デアリマス

○田中委員長 野溝君

サウ云フヤウナ大キナモノニ對シテハ二個以上ノ決議權ヲ與ヘルト云フヤウナ方法ヲドウシテモ講ジテ貰ハナケレバイカスト思フノデアリマス、此ノ事ニ付テハ色々其ノ後調ベテ見タノデアリマスガ、或ハ乾麵麴工業組合、或ハ食料品罐詰工業組合ノ定款、是等ノ中ニハ二個以上ノ決議權ヲ與ヘテ居ル例ガアル、今朝程新聞ヲ見タ所ガ、海員組合ダト思ヒマシタガ、此ノ海員組合ニ付テモ、其ノ力ニ應ジテ二個以上ノ決議權ヲ與ヘテ居ル實例ガアルノデアリマス、斯ウ云フヤウナコトヲ一ツ參酌シテ戴キマシテ、少數弱小者ノ無理ガ通ル、所謂國際聯盟ニ於テ日本ガドウシテモ居タマルコトガ出來ナクナツタ、弱小國ノ數ニ依ツテ虐メラレテ居タマルコトガ出來ナクナツタ、ア

○野溝委員 私ハ社會大衆黨ヲ代表致シマシテ本法ニ對スル賛成意見ヲ申上ゲテ見タイト思ヒマス、私ハ數點希望ヲ述ベテ賛成ノ意見ニ代ヘタイト思ヒマス、第一點ハ、本法實施運用ノ場合ハ生産飼育者ノ地位ノ安定ヲ嚴守サレタイコト、第二點ハ、日滿支酪農業ノ調整ヲ考慮サレルコト、第三點ハ、指導機關タル畜産組合ヲ強化確立スルコト、第四點ハ乳價乳量ハ原則トシテ生産飼育者ノ意思ヲ尊重シテ決定サレタキコト、第五ハ、本法ハ國民保健トノ關聯ニ於テ運用サレタキコト、以上五點ヲ特ニ要望致シ、社會大衆黨ヲ代表スル賛成意見トスル次第デアリマス

アツタ際「スターリン」ハ三時間ニ互ル大演說ヲ爲シタ、其ノ大演說中特ニ注目スベキ一點ガアツタノデアリマス、其ノ一點ハ農業ト牧畜ニ關スル所謂計畫方針デアリマス、計畫方針ト申シマセウカ、具體的ナ一ツノ方針ガ發表サレタノデアリマス、其ノ發表ノ内容ヲ申上ゲマスルト、農業ト牧畜業ヲ此ノ三年乃至四年間ニ次ノ如ク發展セシメナケレバナラス、穀物生産額ヲ八十億封度、加工農産物ヲ年平均三〇%乃至三五%、養豚ヲ二倍、有角家畜ト云ツテ居リマスケレドモ、是ハ牛ノコトヲ指シテ居ルノデアリマス、之ヲ四〇%、馬ヲ三五%、ソレノ増加セシメネバナラスト云フコトヲ言ツテ居ルノデアリマス、吾々ハ之ヲ他山ノ石トシテ、我國ト致シマシテハ十分考ヘナケレバナラス問題デアルト考ヘル次第デアリマス、本法ハ勿論時局ノ反映シタ法案デアリマセウケレドモ、其ノ本質トスル所ハ、私ハ時局ガ事變中デアラウトナカラウト、當然此ノ法案ハ出來ナケレバナライモノダト云フコトヲ痛感シテ居ルノデアリマス、特ニ人類ノ文化的施設ガ段々ト確立シテ來ルニ從ツテ、吾々ノ生命ト云フヤウナモノガ非常ニ大切ニナツテ來ル、本會議ニ於キマシテモ各國ノ平均壽命ト其ノ内容ニ付キ

マシテ私ハ質問シテ置イタノデアリマスガ、日本ハ全世界ト比較致シマシテ最低ニ位シテ居ルノデアリマス、洵ニ憂慮スベキコトデアリマシテ、其ノ原因ガ營養不足ニアシテハ、池田君ガ申サレマシタ通り、全ク極端ニヒドイノデアリマス、斯様ナ狀態デアリマスカラ、特ニ營養分ノ補充ト申シマセウカ、人間ノ營養分トシテ最モ效果ノアルモノハ、私ハ手ツ取早イ話ガ此ノ牛乳デアルト思フノデアリマス、斯ル點カラ見マシテモ製乳業ト云フモノハ發達セシメナケレバナラス重要ナ條件トナツテ居ル次第デアリマス、ドウカ政府ニ於カレマシテモ、諄クハ申上ゲマセウガ、其ノ點ヲ十分考慮サレマシテ、本法ノ精神ヲ活カシテ戴キタイト思フ次第デアリマス、簡單デアリマスガ、以上申上ゲマシテ、社會大衆黨ノ賛成意見トスル次第デアリマス

○田中委員長 小田君

○小田委員 私ハ本案ニ對シテ賛成スル者デアリマス、ソレニ付テ二三點希望ヲ申述べマス、先日モ質問ノ際ニ觸レタコトデアリマスガ、本案ガ農民生活ノ安定ト云フコトヲ度外視シテモノデナイト云フコトハ存ジテ居リマス、ソレト共ニ現在ハ戰時下デ

アル、此ノ戰時下ニアル國民トシテハ、何
ハ措イテモ先ツ勝タレケレバナラヌ、勝ツ爲
ニハ戰爭ニ勝ツ所ノ力ヲ持タケレバナラ
ヌ、其ノ戰爭ニ勝ツ爲ニ現在生産力ノ確保
竝ニ擴充ト云フコトハ、之ハ絶對事デア
ソレニ拘ラズ無制限トハ言ヘナイケレ
ドモ、無制限ニ近イ状態ニ於テ農村ノ畜力
ガ減退シツツアル、市場ニ於テ屠殺サ
レタ精肉ガ市民ノ食卓ニ上セラレテ居ル、
之ヲ徒ニ市民ノ自意識ニ依ツテ消費スル
ト云フヤウナ漫然トシタ態度ヲ以テシテ

果シテ生産力ノ確保、農村畜力ノ保持ト
云フコトガ得ラレルデアラウカト云フコト
ニ對シテ私ハ非常ニ大キナ疑問ヲ持ツノデ
アリマス、併シナガラ一面ニ於テ其ノ生牛
ヲ屠殺セシメ其ノコトニ依ツテ農家經濟ノ
幾分ノ足シニシテ居ル農民ノアルコトヲ知
ルノデアリマス、其ノ精肉ノ消費制限ニ對
シテノ方策ハ如何デア
ルカト云フコトモ亦
疑問トスル所デア
リマス、精肉ニ對ス
ル役
牛又ハ乳牛ノ屠殺
ヲ制限シテ生産努力
ヲ確保スル、其ノ爲
ニハ農家ニ對シテ適
當ノ補助施設ヲ講ズ
ベキデア
ルト云フコトハ考ヘ
ラレルノデア
リマス、又斯クスル
コトニ依
ツテサラダダニ不
足ヲ告ゲツツアル
所ノ肥料對策モ稍
可能ニナルト思フ
ノデア
リマ

ス、私ハ此ノ場合ニ於テ農政一般ヲ見テ、
農家ガ其ノ生命トスル所ノ肥料ノ入手難ニ
陷ツテ居ルコトハ重大ナ問題ダト考ヘル、
政府ガ此ノ民族ヲ舉ゲテノ生産戰爭ニ當ツ
テ居ル場合ニ、其ノ農民ノ生命デア
ル所ノ武器デア
ル所ノ肥料ヲ提供シ
ナイト云フコ
トハ是ハ重大ナ責
任問題ダト考ヘ
ル
○田中委員長 小田君、御發言中デア
リマ
スガ、時間モ切迫
シテ居ルコトデ
アリマス
ノデ、成ベク一ツ
簡潔ニ此ノ問題
ニ觸レタ
討論ヲ御願致シ
マス

○小田委員 乳牛ニシテモ或ハ精牛ニシ
テモ、現在ニ於テ
成ベク屠殺スル
コトヲ制限
スルナラバ、ソ
レダケ自家堆肥
ト云フモノ
ハ確保サレル
ノデア
ル、ソレニ現在
農村ニ
於テハ、是ハ沖
繩ニ於テデモ
アリマスガ、
肥料ノ手當ガ
遅レタ、配給
ガ遅レタ爲ニ
春
期ノ施肥ガ
出來ナイト
云フ状態ニ
置カレテ
居ル、農村ハ
軍事要員ハ
應召サレテ、
其ノ上ニ自由
氣儘ニ幾ラ
デモ肉牛ヲ
屠殺サセ
ル、サウシテ
市民ノ要求
ニ應ジサセ
ル、此ノ問
題ハ單ニ畜
産ノ部門ノ
ミデナクシ
テ、農林
省ハイマ
少シ眞剣ニ
御考ヘ願
ハナケレバ
ナ
ラヌコトダ
ト考ヘル
ノデア
リマス、此
ノ事
ヲ一言申
述ベマシ
テ私ハ本
案ニ對シ
テ賛成

ヲ致ス者デア
リマス

○田中委員長 討論ハ終局サレマシタ、是
ヨリ採決ニ入
リマス、本
案ニ御賛成
ノ諸君
ノ起立ヲ求
メマス

〔總員起立〕

○田中委員長 起立總員、仍テ本案ハ可決
サレマシタ(拍手)、茲ニ諸君ノ連日ノ御精
勵ヲ感謝致シ
マシテ、本
委員會ヲ閉
ヅルコ
トニ致シ
マス

午後零時五十一分散會

昭和十四年三月十三日印刷

昭和十四年三月十四日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局